

一般質問 まちづくりを問う

12月定例議会では、19人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約して、お知らせします。

新しい工業団地への企業誘致を

市長／市内企業への誘致活動もしたい



議員 勝義 かつよし
相馬 そうま

議員 今後の企業誘致の範囲は首都圏だけなのか。市内の既存企業も認めるのか
市長 首都圏や中京圏のみならず市内の企業移転、拡張にも地域経済の活性化を図るため積極的な誘致活動を行っていききたい。



完成間近な第2大林農工団地

議員 9月の災害を教訓に河川敷整備について市民の安全確保のための施策は。
市長 河川整備と早急の復旧を直接国交省に出向き、また、県の意見交換会にも出席し具体的な要望を行っている。県では迫川若柳大橋周辺や荒川・太田川での河川整備を実施しているが、今回は緊急対策として補正予算を計上し対応したいと回答を受けている。引き続き国、県にも強く要望する。

市有地の有効活用を

議員 志波姫南郷コミュニティセンターに隣接する運動公園を宅地分譲などの有効活用の計画は。

市長 現在は近隣の4つの自治会と市で管理運営しているが、広い面積のため苦労している。今後、申し入れを受けながら、地域との十分な話し合いのもと検討したい。

市職員の再任用制度

議員 市職員の退職者への再任用の環境整備や勉強会を行っていただければその反応は。

市長 再任用制度は平成25年度から実施。市は「再任用制度・運用方針」を定め、毎年度その方針に基づき、従前の勤務実績、再任用への勤務意欲、配置可能な職務の有無などを検討し、採用可否を決定する。

スポーツパーク撤退も

市長／市民ニーズに対応、推進

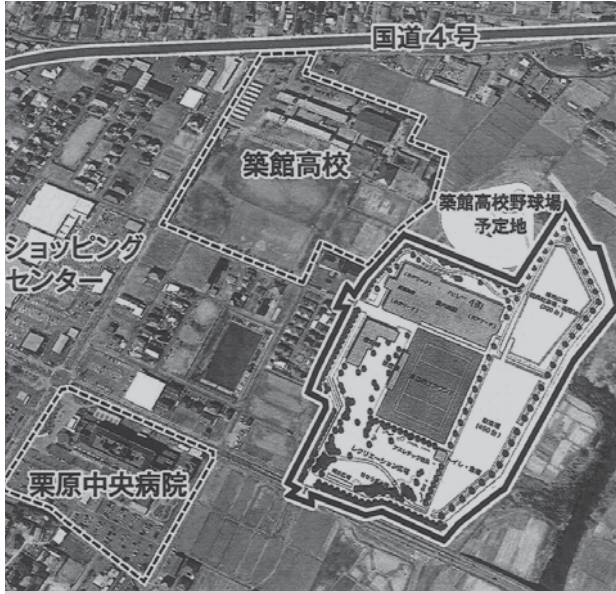


いぐらし いさみ 議員
五十嵐 勇

議員 ホッケー場建設など、断念するもののスポーツパーク計画と東京五輪合宿誘致は分離し推進を図っていく骨子案が公表された。これは大幅な変更ではないか。

市長は先の議会で撤退もありうる」と明言している。これに当てはまるものではないか。

市長 市の地方創生の政策として、ホッケー競技はもとより、他のスポーツの大会も誘致するなど、スポーツ振興により、交流人口の拡大を図り地域活性につなげるもので市民のスポーツニーズに対応するため当初



スポーツパーク構想の予定地

の方針どおり整備を進めていく方針である。

議員 市民10人の計画基本構想策定懇話会の意見を市民7万人の代表として捉えているのは理解できないが見解を聞く。また体育協会、競技団体との協議経過は。

市長 市の策定する基本構想に広く市民の意見を反映することが目的であり、市民7万人の代表として捉えていない。体育協会と6月に意見交換した。今後素案を取りまとめた段階で意見交換を行っていく。

議員 合併協議会の重点事業として新市に持ち込んだ事業の進捗と未実施事業の推定事業費の総額は。

市長 新市建設計画の84の重点プロジェクト事業中、平成27年度まで完了事業52、未完了事業31、うち実施中事業14、未着手事業17、中止事業1、事業費総額は把握していない。

水害対策・対応は万全か

市長／行動計画の策定を進める



あべ さだみつ 議員
阿部 貞光



水位観測所

議員 雨量計・水位計設置状況と避難判断水位等の活用はどうか。

市長 宮城県で設置している雨量計は18カ所、気象台の雨量計は3カ所、水位計は24カ所となっており、新たに4カ所を要望している。避難判断水位などは消防団の出勤や住民への周知をする基準に活用している。

議員 河川断面が立木や土砂の堆積により大きく変化している。河床高の差はどうか。また、堤防の総点検をすべきと考えるがどうか。

市長 河川維持計画に基づき、河川パトロールによる目視点検を行い、河川の状況把握に努めている。決壊した二迫川、芋塚川を含む河川は今年度内に緊急点検を実施、その他の河川は来年度総点検を行い、堤防改修を初め河川の維持管理計画を見直す」と聞いている。

議員 住民の安全を確保するため行政・地区が一体となったタイムラインの策定を求める。

市長 今回の経験を踏まえ、避難勧告などの発令基準の見直しや、市や市民などがいつ何をするかを時間毎にあらかじめ明確にしておく行動計画の策定を進めていく。

議員 学習指導要領の改訂で、授業時間と学習内容が見直されている。学校週5日制にゆとりはあるか。

教育長 子どもと向き合える時間を確保するため、自主的な業務改善に取り組むよう指導すると共に、各種調査の見直し、電子メールの活用や公務用パソコンの整備などを進め、学校の事務量の低減と積極的な支援を行っている。

地方創生、市の取り組みは

市長／国に先駆けて取り組んできた



議員 千昭 佐藤

議員 地方創生が目指す取り組みは、少子化対策の一層の推進でもある。これまでの対策に加えて、さらなる取り組みはあるのか。

市長 「市民が創るくらし

たい栗原」の実現に向けた各種施策、新たな7つの成長戦略と、国に先駆けて地



建設が進む宅地分譲地

方創生に取り組んできたと自負している。例えば、中学生までの医療費無料化や保育料2人目以降無料化、婚活イベントの実施、空き家バンク事業、宅地分譲事業、企業誘致、工業団地の整備である。さらなる取り組みは現在作成中である。

議員 少子化対策の推進にむけ、縁結びや定住の窓口を集約すべきと思うが。

市長 若者たちが戻ってこられるのであれば、なんでも進めていく。

返上すべき指定廃棄物最終処分場

議員 2年続けて指定廃棄物最終処分場建設については越年することになった。

いつまでも環境省に振り回されてはいけない。処分場候補地の返上と反対、そして早急にはかの解決策を宮城県、環境省に求めるべきである。

市長 これ以上先延ばしにしても、何の打開策も見えない。最終処分場候補地返上と原点到り、望ましい処理方法と一日も早く汚染

稲わらなど保管農家の不安の払拭と放射性物質汚染対処特別措置法を見直すよう知事が中心となって行動するよう要請する。

その他の質問

少年犯罪の防止について

関東・東北豪雨災害への対応と教訓は

市長／対応の検証や課題、改善策を検討する



議員 久一 小野



熊川堰 早急な撤去が求められる

議員 警沢南郷・袋地区の越流、決壊を確認したのはいつか。堤防の警戒態勢はどうか。また現地災対本部には何か決定権はあったか。

市長 夜間であり、すでに水があふれて危険なため越流決壊確認も堤防警戒もできなかった。現地本部では情報収集や被害調査、避難所の運営が主な業務である。

議員 本部長は市長であり自分が本部会議で判断すると言われたが泥まみれの家具、畳など緊急の片づけを

要する時は集積場所の設置は現地に任せるべきだ。

市長 指摘をしっかりと受け止め、丁寧に前向きに対応していく。

議員 避難所の袋多目的センター、旧富野小学校には飲み水、食料、毛布などは備蓄されていたか。

市長 集約避難所なので保管していなかった。備蓄倉庫は花山にある、今市役所のそばに備蓄倉庫を建築するために努力している。

議員 熊川富根岸に設置されている熊川堰は、川の流れを止めているので早急に撤去すべきでないか。

市長 撤去予定施設となっているが多額の費用がかかるため、県営事業で平成32年度の着手予定である。

指定廃最終処分場は いらないと主張を

議員 詳細調査は越年することとなった。市町村長会議では返上を主張し約束どおり反対運動をすべきだ。

市長 会議の席上で返上し特措法と基本方針を見直すよう要請する。再度の調査要請には拒否していく。



佐藤 範男 議員

白紙にもどせ スポーツパーク計画

市長／市民と議会への説明に努力



構想予定地の築館下宮野地内

議員 医学部構想が頓挫、またはホッケー場の内部整備を断念した段階で、スポーツパーク計画を白紙にもどし、市民を含めて土地利用を再検討すべきだった。

市長 当初、ホッケー場と合宿所は、それぞれ個別事業として計画していたが、幅広いスポーツに対応する体育施設や緑地公園としての一体的な整備の検討のため、基本構想の策定が必要であると、判断した。

議員 当該計画を実施するとした場合、事業完了までの必要期間と、74億円を超える概算工事費の捻出財源は何を見込むのか。

市長 基本構想の策定過程において、整備スケジュールに必要な条件や、各種法規制の調査を進めている。財源は各種補助金や起債の活用を検討している。

詳細な整備スケジュールと財源は、次の段階の基本計画の策定の中で検討する。

議員 市長の任期は、平成29年4月末日で満了する。当該事業の適否は、次期市長選挙の大きな論点になる。選挙結果次第では、事業の頓挫も想定される。

当該計画の取り扱いの決定については、市民の確実な意思で選任される次期市長に委ねるべきだ。

市長 市長とは、社会情勢の分析と市民ニーズを把握し、現在の市に必要な施策を進めながら、将来の市のあるべき姿を想定し、施策の選択と実行の判断が常に求められる。大切なことは、2025年対策だ。このことを踏まえ、市民や議会への説明をしっかりと行う。

横須賀地区、落橋の完成年度は

市長／平成30年度の完成を見込む



石川 正運 議員

議員 横須賀橋の改修工事の規模と完成時期はいつか。

市長 横須賀の架け替える橋の規模は長さ30メートル、幅5メートル、高さは現在より1.5メートル高くなる。完成は平成30年度を見込んでいる。

議員 仮称横須賀橋から県



完成を待つ落橋

議員 宮野地区の渋川に排水ポンプの設置を

議員 宮野地区を流れる渋川に排水ポンプを設置する

道築館、登米線への取付道路改良もすべきと考えるがどうか。

市長 地域の生活道路として、更に伊豆沼、内沼観光道路としても重要な路線と認識している。道路整備計画の中で検討していく。

予定があつたが実現されていない。水害や防災面から早急に設置すべきと思うがどうか。

市長 宮野地区は重要な地域であるとの位置づけや将来を考えると、やらなければならぬ事業だと思ふ。効果的な排水方法を前向きに検討していく。

伊豆沼、内沼の水質改善を

議員 伊豆沼、内沼に年間枯れたハス3000トン、野鳥の糞200トンなどが堆積することで水質が悪化している。改善策として浚渫すべきと考えるがどうか。

市長 水質改善を図るため水質浄化に効果のある沈水植物の増殖、水生植物の適性管理として、ハス、ヨシ群落の刈り取り、沼の透明度の改善に取り組んでいるが、浚渫の計画はない。今後、水質汚濁の浄化に努めていく。



佐藤 悟 議員

急げ堤防の構築を

市長／早期改修を強く要望していく



金城津久毛大原木地域

議員 ①甚大な被害を受けて来た河川の堤防決壊の箇所と主な要因は何か。
 ②河川底の掘削、中州・雑木などの除去は、どう行われているか。
 ③三迫川の津久毛大原木地域は、無堤防でたびたび水害の被害を受けて来た。早期に堤防の構築が必要ではないか。

市長 ①平成21年10月照越川1、平成25年7月照越川・太田川各1、平成27年9月二迫川2（築館1・鶯

沢1）・芋塚川4（二迫3・栗駒1）で4河川・9カ所である。集中豪雨の異常出水と考える。

②県は、迫川・荒川・太田川で実施しており、緊急対策として、補正予算を計上し、進めるとしている。

③今回の災害に対し、早急な復旧と河川整備の実施を求め、平成27年9月30日内閣総理大臣へ、10月13日宮城県知事へ緊急要望を行った。迫川水系総合治水対策促進期成同盟会においても、津久毛大原木地区に限らず早期改修を引き続き強く要望していく。

議員 宮野小学校の「再編計画」は、PTA・地域住民の反対意見が強く、合意形成が出来ていない。住民の意向を把握し、計画の再検討を行うべきでないか。

教育長 豊かな人間関係の構築からクラス替えが可能となる2学級以上を適正規模とし進めている。

保護者の意見は、真摯に受け止めている。保護者の合意形成を得た上で、次に地域に説明し、話し合いで合意形成を得る形で進めていく。

指定廃棄物問題での

知事発言をどう思うか

市長／政治のリーダーシップを求めたのではない



沼倉 猛 議員

めたものと思っっている。

TPPから撤退を求めよ

議員 指定廃棄物最終処分場問題で知事は、国は沖縄で頑張っているとの発言をしている。指定廃棄物処分場建設でも地元住民の意思を無視しても強行せよと

市長 環境省への怒りと、政治のリーダーシップを求め

議員 TPPで栗原市の重要5品目の年間生産額137億1000万円のうち14%、約20億円の減収が推測される。TPP交渉からの撤退を求めよ。

市長 国会決議が守られたかは疑問と感じている。国に対応策を要望していく。

なぜ学校再編なのか



加美町の阻止行動

学童保育の土曜開所を

議員 規模の大小で中学校間に学力、部活動、人格形成などに違いがあるか。高清水中学校と瀬峰中学校の統合の計画があるが、瀬峰中学校から高清水中心地までは6キロ未満であり、ほとんどの生徒はスクールバスは利用できない、5年間の激変緩和後の通学対応は。

教育長 部活動については少ない傾向にあるが、学校規模の違いによる学力の差はなく、教育水準の違いもない。スクールバスは激変緩和措置の間はすべての生徒が利用できるが、その後は6キロ規制の適用でいきたくと考えている。

議員 土曜日の放課後児童クラブの開所を望む声があるがどう答えるか。

教育長 これまで要望は少なかった。要望が多ければ検討していく。

市民は望むかスポーツパーク

市長／市民生活の質的向上に必要



ささき よしろう 議員 佐々木嘉郎

議員 スポーツパーク計画事業費74億1800万円は、これまでで最大規模だ。オリンピック特需で人件費や資材費の高騰で更に膨らむ懸念がある。必要な事業かどうか、市民に徹底的に説



今、必要なのは公園か、宮野の計画地

明し、白紙に戻すべきだ。
市長 子どもから高齢者までスポーツに親しみ充実感を持って暮らせる環境を整える。市民総参加の生涯スポーツ社会、家族3世代がレクリエーションを楽しみ健康増進や心の豊かさを実感できる場として、この計画を進める。
議員 屋内施設としてバレーボールなど、プロ競技ができる3000席の大ア

アリーナ、柔道・剣道用の小アリーナ。45億9000万円の巨大施設だが、国内外の大きなスポーツ大会は一度性ではないか。
市長 スポーツパーク策定懇話会から既存の体育館等では、観客席が手狭で全国規模の大会運営が難しい。市内各所でのレクリエーションについて、多くの市民が参加できる場が必要との意見があった。大アリーナを設置したい。
議員 市民が気軽に楽しめる施設とトップアスリートが使用する施設の両立は難しい。地域住民の融和や健康増進のため、身近な既存施設の有効利用を優先すべきではないか。
市長 3世代が楽しみながら健康増進を図り、市民生活の質的向上に役立つ施設だ。これにより、若者の定住促進を進め地域衰退に歯止めをかける。地方創生の重要な施策と考えている。

市内バス運賃200円で統一を

市長／平成31年度実施に向け検討



たかはし かつお 議員 高橋勝男



バスは市民の大切な足、生命線

議員 市長は、議会で「栗原市全域を地域内路線と位置づけ、運賃も200円均一運賃とするよう検討する」との答弁であったが、なぜ今回運賃の見直しはされなかったのか。
また、乗継ぎの改善を求める意見への対応は。
市長 法律改正により、「地域公共交通網形成計画」を策定する必要がある。その中で検討する。また、乗継ぎの改善については、再度見直しをする。

汚染牧草の搬出、打つ手なし

議員 放射能汚染牧草の県外搬出に対する栗原市の対応は。

市長 白石市の事で県から通知があった。引き続き関係農家に管理の徹底をお願いする。それ以外の事はできない。

議員 市が汚染牧草の一時保管をしないと、市内からの搬出を防ぐ事はできないのではないか。

市長 県内自治体では、保管場所の選定や住民の理解が得られず途中で断念した経過があり、市での集約保管は困難と考えている。

議員 水道未給水戸数と解消に向けた今後の対応は。

市長 現時点では、築館、若柳、栗駒、高清水、瀬峰、鶯沢及び花山の7地区で76戸となっている。地域の要望を確認し、中長期計画の中で検討する。

議員 井戸水の浄水器設置や水質検査費用に対し市が助成する制度はどうか。

市長 井戸水の使用方法を踏まえながら検討し独自の対策を講じたい。

空き家対策の進捗は

市長／計画を策定しながら推進したい



議員 三浦 善浩

議員 ①空き家の現状、相談及び苦情は。②「空き家等対策の推進に関する特別措置法」施行後の取組は。

市長 ①平成27年11月30日現在、1745件このうち危険度が高いのが137件。相談が25件で苦情は20



期待が大きい「セカンドブック」

件。②空き家管理等意向調査を実施してきた。特別措置法に基づいた指導助言や勧告・命令・行政代執行などが可能となり、条例の制定を要しないで空き家対策を実施できることになった。

セカンドブックを導入しては

議員 3歳児健診または就学時健診などの発育段階に応じて、子どもたちに絵本や本をプレゼントするセカ

ンドブック事業を取り入れるかどうか。

教育長 3・4歳の頃の子どもたちは文字や絵本などに非常に興味を示す時期でもあり、読書に親しむ子どもを育てるためにも有効な事業に思われるので、実施について検討していく。

「子育て応援アプリ」導入で子育て支援情報の提供を

議員 妊娠期から就学前までの家庭を対象に支援情報を提供するアプリを導入してはどうか。

市長 身近な情報が提供できるよう早期導入に向けて作業を進めている。

投票率向上の取組みを！

議員 主権者教育は。
市長 市も連携し進める。

その他の質問
①父子健康手帳の配布を

豪雨災害の教訓を生かせ

市長／検討会議での改善と行動計画を策定



議員 東 三塚



豪雨に備え鉄橋撤去の声も

議員 「関東・東北豪雨」による災害は市民2人の尊い命を奪ったほか、住宅や農林業用施設、公共土木施設など、災害の復興支援や復旧費の総額が25億円にも及んだ。

- ① 今回の豪雨災害への検証を行い、今後の豪雨災害に備えるべきではないか。
 - ② 水害の場合、消毒活動や方法はどうか。
 - ③ 「共助」の中心的な役割を担う「地域防災リーダー」の養成はどうか。
 - ④ 二迫川と三迫川に架かる旧くりでんの鉄橋を解体、撤去すべきではないか。
- 市長** ①豪雨災害の対応状況の検証や課題、改善策の検討を行うため、検討会議で改善を図っていく。また国は「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」を見直しているのので、改定後のガイドラインを参考にしながら「行動計画」を策定し、今後の災害に備えたい。
- ②災害対策基本法に基づき市の地域防災計画により、速やかに消毒活動を行うことになっており、使用薬剤基準も床上・床下浸水それぞれ具体的に定めている。
- ③県は地域防災リーダーとして「防災指導員」を養成している。市の防災指導員の認定者は283人である。
- ④旧くりでんの鉄橋は、貴重な鉄道遺産として、鉄橋がある景観を惜しむ声があり、保存してきた。しかし、平成27年9月の関東・東北豪雨災害の教訓を生かし、河川管理者と協議しながら計画的な撤去を検討していきたい。



佐藤 文男 議員

屋外表示板などの鉄製支柱の管理は適正か

市長／不具合が確認された場合は随時修繕



曲がったままのカーブミラー

議員 屋外にある多くの表示板などの支柱は鉄製品が使われている。定期的な塗装や腐食防止の対策など適正な管理点検が求められる。全国的には、こうした支柱が腐食して倒れ、怪我を誘発する事故も起きている。

①市道に設置されているカーブミラー・道路標識の支柱が押し曲げられたりキズが付いたままになっている所が見受けられる。これらの管理はどこか。

②公共施設内の外灯の支柱

が錆びたままで穴のあいた危険なものもある。定期的な点検はされているか。また、市有地内に市以外の設置者が表示板などを設置した場合、以後の管理責任はどこにあるか。

市長 ①道路の安全通行を目的に設置したカーブミラーは市道の管理者である市が行い、道路標識には宮城県公安委員会が管理している。カーブミラーなどは、市道のパトロールや市民からの情報提供を確認し損傷の度合いでは、補修を行っている。除雪作業時に道路施設などに損傷を与えた場合は状況を確認の上、市で修繕を行っている。

②公共施設内の外灯などは施設を所管する職員や指定管理団体が施設内外の清掃などを行う際に目視により点検を行うほか、市民からの情報提供により支柱に不具合が確認された場合は随時修繕を行っている。

市有地に市以外の設置者が看板など設置する場合は、申請許可証で、設置者が常に注意を図り使用物件の維持管理に努めることになっている。

急げ洪水防止対策を

市長／河川管理者の県と協議する



佐々木 幸一 議員



越流した低い市道部分

議員 関東・東北豪雨で小田川の堤防と市道堀籠川原線や樋渡線の交差点から越流が発生した。洪水を防ぐため早急に市道の高上げを行う考えは。

市長 市道と堤防の交差点部分は堤防の整備となる。管理者の県と協議検討する。

議員 市内の河川の堤防の天端の低い所や堤体の細い所の調査と支障木などの除去を、県に要望すべき。

市長 来年度河川の詳細調査を行い、維持管理計画を見直すと考えている。早期の対応を、県に要望する。

議員 県道1号古川佐沼線は大雨の度に冠水し通行止めになる。その時には市道寺沢線が代替道路となるので維

持管理計画を見直す。早期の対応を、県に要望する。

議員 県道1号古川佐沼線は大雨の度に冠水し通行止めになる。その時には市道寺沢線が代替道路となるので維持管理計画を見直す。早期の対応を、県に要望する。

木などの枝払いを行うべきでは。

市長 道路パトロールを行い、民有地の場合は所有者に連絡し、枝払いや伐採などの対応を行っていく。

議員 滑って使えぬ テニスコート

議員 瀬峰総合運動場のテニスコートは、少しの雨や朝露でも滑って使えない。人工芝か滑らないテニスコートへの改善工事の施工とナイター設備の設置要望に応えるべきではないか。

教育長 テニスコートは、全天候型だが雨などで滑るので排水対策を行ってから利用するとしている。ナイター設備は、利用状況や要望を聞いて検討する。

議員 頑張っている生徒達を応援するために早急にコートの改善をすべきでは。

教育長 テニスコートを点検し、状況を確認した上で検討したい。

観光産業を地方創生の柱に

市長／関連団体との連携強化を図る



たかはし わたる
高橋 渉 議員



外国人観光客の誘致を

議員 市は200万人の観光客誘致を目指している。観光産業を地方創生の柱として今まで以上に積極的に取り組むべきである。従来と違い観光客の行動パターンが変化しているが、市の考えは。

市長 観光客が団体から家族や友人同士、小グループの着地型の旅行に変化している。体験型の観光を進めたい。

議員 民間と行政の観光に取り組む姿勢の一体感が薄

議員 市は「新たな7つの成長戦略」を掲げ、雇用の確保や若者の定住促進を課題としているが、産業界のための人材教育や技術の習得が不可欠である。公共投資は「人」にも行うべきと考えるがどうか。

市長 人材育成のための投資を積極的に行うことは市の重要課題としている。能力開発や人材のスキルアップにつながる支援を図るため、関係機関と連携し、必要に応じて、新たな助成制度を考えたい。

公共投資を「人」に

い。官民による観光組織を立ち上げるべきでは。

市長 栗駒山麓ジオパーク推進協議会を中心に、宿泊飲食、運輸など、観光に関わるあらゆる団体と連携を強化したい。

議員 外国人観光客にはガイドが欠かせない。ガイドの養成が急務と考えるが。

市長 市内や仙台市内に在住する外国人の協力を得て観光塾を開催し、受け入れ体制を整備していく。

概要	概算金額
（アリーナ）3000席、小アリーナ（武道）	4,590 百万円
外国人人工芝グラウンド	469 百万円
（管理棟）更衣・シャワー	100 百万円
計 4,959 百万円	
（注）栗駒山麓スポーツセンター建設に関する関係特別委員会、資料3「栗駒山麓スポーツセンター」を参照	

用途別	概算金額
90台、調整池、車路	132 百万円
クリエーション広場、噴水広場等	670 百万円
地費、造成費	860 百万円
計	7,418 百万円

総額 74 億 1800 万円の骨子案

議員 ホッケー場建設を最大目玉としてきたスポーツパーク計画であり、そのことがなくなった今、本計画を白紙撤回するのが当然と考えるがどうか。

市長 キャンプ場誘致は既存のホッケー場を改修して



すがわら ゆき
菅原 勇喜 議員

対応することとした。市民のスポーツ振興や健康増進に役立つ施設として、屋内施設、多目的グラウンドなどを整備することとした。

議員 迫桜高校ホッケー場人工芝グラウンド整備の県への要請は

議員 迫桜高校は小石まじりの照明設備なしのグラウンドで練習している。宮城県に対して整備の要請をすべきではないか。

総額74億1800万円のスポーツパーク計画「白紙撤回」を

市長／スポーツ振興や健康増進の施設として整備

教育長 市教育委員会として宮城県教育委員会に要請を行っていく。

議員 志波姫中学校テニスコートの改修内容は、また残りの中学校の整備計画はあるか。

教育長 今年度コート4面の人工芝の張替えを行う。残りの中学校については、今後、人工芝にする計画はない。

議員 市内には10体育館があるが改修計画は立てられているか。

教育長 若柳、栗駒総合体育館を除き8施設が建築後30年から40年経過している状況にある。今後、定期的な点検などを行いながら改修を計画していく。

議員 市内高校生の文化、体育施設利用料無料化について検討して行くとのことだったが、現時点での見通しはどうか。

教育長 平成28年度から無料化について検討中である。

通勤費補助制度を創設しては

市長／地方版総合戦略の中で検討する



たかはし よしお 議員

議員 閉校施設を活用して定住応援住宅を建設してはどうか。

市長 立地状況や地域などとの利活用方針の整合性を図り、建設を検討する。

議員 定住応援住宅に長期間住んだ方は買取ることができるようにしてはどうか。

市長 長屋形式の住宅は私下げできないが、新たな計画で他市町村の状況などを調査し検討する。

議員 夜間人口増加のため新幹線通勤者などへ通勤費補助制度を創設しては。

市長 地方版総合戦略の中で検討する。高速道路や高速バス利用の通勤なども考慮し検討する。

議員 定住促進対策としてスポーツパーク計画に有用



多くの通勤者が利用する「くりこま高原駅」

性を見出すが、他の体育施設の統廃合はどうするのか。

教育長 既存体育施設は点検、改修し活用する。整備する施設では全国大会などを誘致し、トップレベルのプレーに接する機会の提供や各種スポーツ教室の開催に努める。

議員 子どもは、地域の宝という地域文化醸成の取組みも必要ではないか。

市長 子は何ものにも優る室。子育て支援施策を生か

すため、子育て家庭を見守るなどの支え合い、成長を喜び合える地域づくりを支援する。

議員 指定廃棄物最終処分場の建設がこう着状態となっている。他の解決策は検討できないか。

市長 近く開かれる市町村長会議で国に早急な処理を強く要請するが、原点到り市町村長が同じ立場で議論することが大切である。

これで十分か災害緊急時の情報伝達

市長／見直しを考える



せと けんじろう 議員



決壊した二迫川の堤防

市長 アンケート調査は行っていない。防災行政無線は、平成21年にデジタル化しながら市内全域に整備した。難聴世帯、行政区長、指定避難所など1400台の個別受信機を設置している。個別受信機は1台当たり6万〜10万円の設置費用がかかり全世帯設置は難しい。

議員 岩手・宮城内陸地震のときに活躍したMCA無線、色麻町ではワイマックス（高速無線通信）、また今のシステムでデジタル波を送信しアナログ波に変えて受信できる防災ラジオは安価で対応できる。通報のあり方を検討すべきでは。

市長 家の中に居て聞こえないならば窓を開けて身を乗り出しそれでも聞こえないときは外へ出て聞く、自分の命は自分で守るのが基本と思うが、情報伝達のあり方をもう一度原点に戻ってやらなければならない。

議員 火災時の防災行政無線はなぜ放送しないのか。

市長 市民が殺到し消火活動に支障をきたす恐れがあるため放送を控えている。

議員 これまでの質問で市長は、堤防の改修や堆積土砂・支障木撤去は国・県に頼らざるを得ないと答弁している。市で出来るのは市民の生命と財産を守るために雨量や河川水位などの情報を一刻も早く市民に伝達し避難することと思うが、大雨の時など全く聞こえない防災行政無線や安心安全メールについて市民の意見やアンケートはどう把握しているのか。また、対策は

